

全国特定地域づくり探訪

●森と柚子と笑顔あふれる「うまじWORK」で、「マルチワーク」という新しい働き方

馬路村特定地域づくり事業協同組合

高知県
馬路村

活用のきっかけ・期待すること

- ▶馬路村の過疎化・少子高齢化に伴う産業の担い手不足が課題。特に観光や福祉・介護分野では深刻な状況。地域産業の深刻な人手不足解消のため、地域が団結して活用を決意。
- ▶地域が一丸となり、移住者をマルチワーカーとして雇用・受入れと地域で活躍する場を創出し、地域課題の解決につなげていく。

取組内容

▶地域に仕組みの浸透を図り、産業の担い手確保・過疎化対策への貢献

常時4～5人の派遣職員の雇用を目指しながら、マルチワーカーを派遣する仕組みを地域に浸透できるよう努め、組合活動を継続することで移住者の雇用の受け皿としての役割を果たし、馬路村への移住促進を後押しし、将来的には地域産業の担い手確保や移住した派遣職員が定住することで、過疎対策といった地域活性化への貢献を目指す。

派遣職員が気に入った地域の事業者へ就職（＝当組合からの卒業）するために必要なスキル習得や働き甲斐を感じてもらえる職場環境を地域一丸となって創出している。

組合の特色




▶魅力あるマルチワークの働き方を再発見

派遣職員が複数の派遣先企業で働く負担を当初は心配。しかし、違う就労環境で仕事をするのが「楽しい」「いろいろ挑戦してみたい」という声や働く姿を目の当たりにし、地域の様々な事業所で働くマルチワークとしての働き方に魅力があることを再発見した。

派遣方法として、初めに1月単位で各事業所に派遣し、地域での生活や人・仕事になじんでもらった後、派遣職員から希望を聞き、2か所を目安に派遣先企業を決定。

派遣職員の定着が重要であり、移住先での生活不安や孤独感を抱かないよう、派遣職員同士の交流や仕事以外での地域の住民とのふれあいのきっかけとして、1～2か月毎に懇親会を開催している。

マルチワークのイメージ（勤務スタイルの一例）

月	火	水	木	金	土	日
農業協同組合 出荷作業 柚子の選果 搾汁作業 			休暇 	温泉施設 接客業務 		休暇



組合のホームページ



組合URL

<https://umaji-work.com>